

みらいプロジェクト 5年

単元	知って、食べて、広げて！うんまい〇〇（地元食材料理）		
目標	前橋市の歴史や農業、気候、人々の暮らしが地域食材料理と深い関係にあることや、進んで地産地消を推進することが地域のためにも自分の食の安心・安全にもつながることといった概念的な理解をし、地元食材や地元食材料理が育まれた前橋市への愛着を高める。		
評価規準	(①知・技) 地元食材の種類や旬、前橋市とのつながり、地元食材料理のレシピや市民のもつ地元食材料理への印象といった地元食材料理の特徴やよさを理解している。 アンケート結果や地元食材料理の特徴やよさを分類・比較・関連付けする思考ツールを使ったり、自他の考えの折り合いを付け合意形成を図ったりしている。 (②思・判・表) 地元食材料理についての課題を設定し、地元食材について調べ、調べたことや他者の発言といった複数の情報を根拠として解決方法を導き実践している。 (③主体的態度) 地元食材料理への関心を高め、取組への思いや自信をもち、前橋市への親しみを感している。		
過程	時間	学習活動	指導上の留意点
であう	1	○これまでの対象や先輩たちが関わってきた対象を基に、対象を選択する視点について話し合う。	○これまでの探究の経験から探究のよさを想起できるように、過年度のみらいプロジェクトでの具体的な活動とその時の成果が分かる振り返りシートや写真を提示する。
	8 2	○対象の候補を挙げ、対象を選択する方法を話し合ったり、それらについてWebサイトや図書資料、栄養士や専門家へのインタビュー調査等で情報収集をしたりして、自分たちが役に立てることを考える。 ○1年間追究していく対象を決めてゼミを編成し、ゼミごとの学習のめあてをつかむ。 学習のめあて 〇〇（地元食材料理）の魅力を地域に広め、多くの人が親しむ名物にしよう	○おっきりこみや焼まんじゅう等の前橋市の名物から対象を決め、地域を活性化したいという思いをもてるように、対象候補ごとに自分たちができそうなことを記述できる学習シートを用意する。 ○対象候補のおっきりこみや焼まんじゅうの特徴、よさを比較できるように、対象を選択する視点と、メリット・デメリットの思考ツールの用意をする。
かかわる	5	○対象に決めた地元食材料理について、基本のメニューを試しに作って食べたり（試作①）、栄養士の話の聞いたりして、課題①をつかむ。 課題①：多くの人が親しめる〇〇（地元食材料理）にするには、どのような工夫が必要だろう	○決めた地元食材料理の特徴やよさを実感したり、現状の課題を実感して改善する必要感をもったりできるように、振り返りにおいて「広めたい魅力」や「改善できそうなこと」の視点を提示する。
	6	○課題①を解決するための方法を出し合い、方法ごとにグループを組み、解決の方向性について考え、プレゼンテーション資料を作る。	○地元食材料理が抱える問題を明らかにし、課題①を解決する方法を複数出し合えるように、身近な人を対象にアンケート調査を行う機会を用意する。
	2	○ゼミごとに、課題①の解決の方向性についてプレゼンテーションを行い、お互いにアドバイスや感想を伝え合う。	○各グループの解決方法のよいところや改善点を明らかにして、互いにアドバイスし合えるように、それぞれの視点を盛り込んだ学習シートを用意する。
	3	○自分たちのオリジナル〇〇を試作し（試作②）、お互いにアドバイスや感想を伝え合う。 ※包丁の使い方等、家庭で練習してくる（宿題）	○開発したオリジナル〇〇について「食材」や「調理の手軽さ」等の視点から多面的に評価できるように、それぞれの視点を盛り込んだ学習シートを用意する。
	4	○もらったアドバイスを基にオリジナル〇〇の方向性やレシピを見直し、専門家へ向けた試作③の準備と説明資料を作る。	○今までに得た、開発したオリジナル〇〇の特徴やよさを基に、レシピの改善策を導けるように、これまでできてきたことと改善策を記入する学習シートを用意する。
	2	○専門家や保護者を招いてオリジナル〇〇の試作③と取組説明を行い、アドバイスや感想をもらう。	○今までに得た、オリジナル〇〇の魅力や改善してきたことを専門家に伝えられるように、説明する機会を用意する。
1	○試作③でもらったアドバイスを基にオリジナル〇〇のレシピを見直し、今後の取組を考える。 (夏休み中に家庭で保護者と試作したり、専門店に食べに行ったりすることが考えられる)	○今までに得た、開発したオリジナル〇〇の特徴やよさを基に、レシピの改善策を導けるように、これまでできてきたことと改善策を記入する学習シートを用意する。	
		評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」	
		◇対象を選択する視点として、人や地域の役に立てることや試行できることといった、これまでの探究の経験を基とした思いを記述したり発言したりしている。 <学習シート・発言③>	
		◇対象にしたいものを自分なりに決め、その理由として人や地域の役に立てることや試行できることといった、対象を選択する視点を記述している。 <学習シート②>	
		◇対象を選択する視点に照らして対象を決めた根拠を複数記述したり発言したりしている。 <学習シート・発言②>	
		◇今までに得た、決めた地元食材料理の特徴やよさを、改善したいことを基に、これから取り組みたいことを記述している。 <学習シート①②③>	
		◇解決方法を明らかにして、思いが分かりやすく伝わるようにプレゼンテーション資料を工夫し作成している。 <学習シート・発言①>	
		◇学習のめあての達成に向けて、根拠を明確にしてアドバイスを伝えている。 <発言②>	
		◇開発したオリジナル〇〇のよさと問題点について「食材」や「調理の手軽さ」等の複数の視点から記述している。 <学習シート②>	
		◇開発したオリジナル〇〇の改善策の根拠を、複数記述したり発言したりしている。 <学習シート・発言②>	
		◇開発したオリジナル〇〇の改善策の根拠を、専門家から得た考えを基に記述したり発言したりしている。 <学習シート・発言②>	
		◇開発したオリジナル〇〇の改善策の根拠を、複数記述したり発言したりしている。 <学習シート・発言②>	

2学期 ↓	6	○レシピの完全策を話し合って決定し、試作④を行い、アドバイスや感想を伝え合う。 ※考えられる協力者 大学生，荒牧祭で出店，PTA，学校評議員，調理員	○複数の立場の人から意見をもらって、課題の解決につながるように、複数の協力者に依頼する機会を設定する。	◇課題の解決につながるように、根拠を基に、複数の協力者を決めている。 ＜学習シート・発言②＞
	2	○オリジナル○○のレシピを決定し、レシピ集にまとめる。	○自分たちが広めていく上で大切にしてきたことをレシピ集に盛り込めるように、「こだわり」や「広めたいこと」の視点を用意する。	◇「こだわり」や「広めたいこと」が伝わりやすいように工夫しながら作成している。＜レシピ集①＞
	3	○地元食材料理の認知度を改めて調査し、結果から気付きや疑問を話し合い、課題②をつかむ。 課題②：○○（地元食材料理）の魅力が伝わり、多くの人に食べてもらうには、何をどのように工夫して発信したらよいのだろう	○開発したオリジナル○○を発信する目的と相手を明確にできるように、○○を食べたり作ったりした経験や印象についての調査結果を、年齢別に整理するシートを用意する。	◇年齢に関わらず○○を食べたり作ったりした人が少ないことや間違っって誤認されていることを根拠に発信の目的と相手について記述している。 ＜学習シート①②③＞
	2	○オリジナル○○を発信する計画を立てる。	○課題を解決した状態を具体的に想定できるように、開発したオリジナル○○を作りたくなる発信内容について整理する「評価する人」と「評価してもらう方法」の視点を提示する。	◇開発したオリジナル○○の特徴やよさを基に、発信内容を記述したり発言したりしている。 ＜学習シート・発言②＞
3学期 ↓	4	○オリジナル○○の発信方法の案を複数挙げ、それぞれのメリットとデメリットや実現に必要なことを調べたり、発信の専門家から話を聞いたりする。 ※考えられる専門家 広報，新聞，映像を作る人（企業や自治体）など	○発信方法の案について調べたことやインタビュー調査の内容を整理できるように、メリット・デメリットの思考ツールを示した学習シートを用意する。	◇調べたことやインタビュー調査の内容を基に、発信方法の案のメリットとデメリットを記述している。 ＜学習シート①＞
	4	○発信の専門家から受けた話を基に、発信物を作成する。	○専門家からもらった課題点と具体的な改善策をつなげて考えられるように、それぞれをまとめる学習シートを用意する。	◇開発したオリジナル○○を食べてもらう方法の根拠を、複数のよさや問題点を用いて記述している。 ＜学習シート①②③＞
	2	○作成した発信物をお互いに見合い、アドバイスや感想を基に発信物を改善する。	○目的や相手を意識して、開発したオリジナル○○の特徴やよさを発信物にまとめられるように、発信の専門家の発信物を用意する。	◇開発した地元食材料理の特徴やよさについて目的や相手に合わせた表し方で記述している。 ＜発信物①＞
	2	○専門家や保護者を招いてプレゼンテーションをするなどして試しの発信を行い、アドバイスや感想をもらう。	○作った発信物について「食べたくなる」や「作りたくなる」の視点から多面的に評価をもらえるように、アンケート項目の案を出し合う機会を設定する。	◇作った発信物のよさと問題点について「食べたくなる」や「作りたくなる」の複数の視点から記述している。 ＜学習シート②＞
	4	○専門家や保護者からもらったアドバイスや感想を基に発信物を改善し、本番の発信の準備をする。	○専門家や保護者からもらった課題点と具体的な改善策をつなげて考えられるように、それぞれをまとめる学習シートを用意する。	◇作った発信物の改善策の根拠を複数記述したり発言したりしている。 ＜学習シート・発言②＞
	5 課外	○オリジナル○○を、専門家や保護者などの協力を得ながら地域に発信し、アンケート等の集計をし、本番の発信の成果を話し合う。	○アンケート結果を基に課題の解決状況を評価できるように、学習のめあての達成状況や今までの取組の成果を記述できる学習シートを用意する。	◇開発した地元食材料理の感想を基に、今までの取組の成果を記述している。 ＜学習シート①②③＞
・ま 生と かめ する	2	○1年間の取組の成果を基に、実社会へ貢献することと探究的に学ぶことの価値について話し合う。	○地元食材に対する概念的な理解や前橋市への愛着の高まりを実感できるように、単元始めの地元食材や前橋市への印象を記述した学習シートや掲示物の用意をする。	◇地元食材に対する概念的な理解や高まった前橋市への思いを記述している。 ＜学習シート③＞